

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

[評点の見方](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > 評価結果ダイジェスト

評価結果ダイジェスト

▼全体の評価講評

▼サービス分析結果

▼利用者調査結果

▼事業者のコメント

平成17年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	足立区障害福祉センター就労促進訓練室
評価機関名称	パシフィックコンサルタンツ 株式会社
評価者	修了者No.H0401053 修了者No.H0304023 修了者No.H0303047 修了者No.H0403083
評価実施期間	2005年8月25日～2006年2月7日

全体の評価講評

▶詳細はこちらから

💡特に良いと思う点

- ・就労継続までを含めた支援に特化した施設運営
- ・利用者の希望や求人傾向に柔軟に配慮した、個別訓練プログラムの開発・提供
- ・施設内外の連携による、支援活動の広がり

✓さらなる改善が望まれる点

- ・将来を展望した課題把握の取組
- ・施設近隣とのつながりの重視、理解の促進
- ・職員間の一層の意見交換の促進

[このページの一番上へ](#)

サービス分析結果

▶詳細はこちらから

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】 続きを見る	
・利用者の特性に合わせて、コミュニケーションの取り方を工夫しています。書くことで自... ・利用者のコミュニケーションの能力を高めるよう、必要に応じて面接練習を行うほか、個... ・利用者が食の大切さやマナーを学べるよう、栄養セミナー・健康セミナーを実施していま...	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】 続きを見る	
・就労促進訓練室の基本理念として、企業就労をめざしているため、授産活動には重きを置... ・キャリアコンサルタントを講師に招いた就労支援セミナーや、『ビジネスふらいデー』の... ・利用者の日中活動は、すべて利用者と話し合って作成した個別支援計画からプログラムが...	

3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

A

【講評】[続きを見る](#)

- サービス開始時に嗜好調査を行っているほか、月に1回行われる給食会議に利用者の嗜好...
- 栄養士が中心となって、給食業者と連携を取りながら、メニュー、味付け、盛りつけ、食...
- 利用者が食の大切さやマナーを学ぶことができるよう、栄養セミナー・健康セミナーを実...

4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- 着替えや給食の配膳など、利用者ができることは自分で行うように支援しています。また...
- 訓練を通じて身の回りのことを自分でできるように、面接会場へのルートや交通手段を調...

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- 専門嘱託医師による健康相談や、看護師による定期的な健康チェックを行っています。必...
- 緊急連絡先の把握や主治医の情報については、個別ファイルに管理し、緊急時に速やか...
- 看護師が就労促進訓練室だけでなく、足立区障害福祉センター内の複数施設を兼務してい...

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- 行事・レクリエーションのプログラムは、利用者による自治会が中心に企画・立案してい...
- 室内は窓が大きく取られ、明るい空間となっています。また、利用者自ら清掃活動にも取...
- 災害時の避難を迅速に行えるよう、防災用ヘルメットを壁にかけ、自分のヘルメットを取...

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

A

【講評】[続きを見る](#)

- 毎月『お知らせ』を発行し、就労促進訓練室の様子を家族等に知らせています。必要に...
- 家族状況に合わせて2ヶ月に1回、夜間の家族会を開催し、ひとり暮らし支援のための生...

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A+

【講評】[続きを見る](#)

- 利用者一人ひとりが家から職場に行くという生活を想定して、利用者の住所地や就労先、...
- 足立区障害福祉センター全体として、地域清掃や地域住民を対象とした講座などの取組を...
- 工場見学などの職場体験や、民間企業の補助金を活用した取組を行うなど、地域の資源を...

評点の内容
▶ 詳細はこちらから

[このページの一番上へ](#)

利用者調査結果

▶ [詳細はこちらから](#)

有効回答者数/利用者総数
18/22

1. 施設の中は安全に動けるようになっていますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

2.食事はおいしいですか

はい	13人	どちらともいえない	0人	いいえ	5人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

3.仕事や活動は楽しいですか

はい	15人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

4.職員はみんな同じようにあなたに対応してくれますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

5.職員は、丁寧(乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない)に接してくれますか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

6.あなたの気持ちをわかってくれる(相談できる)職員がいますか

はい	13人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

7.あなたが困ったとき、施設の職員は助けてくれますか

はい	16人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

8.困ったことを外の人(第三者委員など)にも相談できますか

はい	9人	どちらともいえない	0人	いいえ	5人	無回答・非該当	4人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

9.工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか

はい	15人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

10.施設に、あなたが来る事を喜んでくれる仲間がいますか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

11.あなたの目標・計画について、いっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	11人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会(説明、掲示など)がありましたか

はい	11人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

14.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか

はい	10人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

15.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	13人	どちらともいえない	0人	いいえ	5人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

16.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

[このページの一番上へ](#)

事業者のコメント

* 以下の項目は事業者によって、自ら更新される情報です。

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団

【問合せ】メールアドレス:fukushiit@fukushizaidan.jp 電話:03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

[事業評価結果](#)

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > 全体の評価講評

全体の評価講評

▼全体の評価講評

▼コメント

平成17年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	足立区障害福祉センター就労促進訓練室
評価機関名称	パシフィックコンサルタンツ 株式会社
評価者	修了者No.H0401053 修了者No.H0304023 修了者No.H0303047 修了者No.H0403083
評価実施期間	2005年8月25日～2006年2月7日

全体の評価講評

💡特に良いと思う点

・就労継続までを含めた支援に特化した施設運営

就労からその後の就労継続を含めた支援に特化した施設運営を進めており、その成果が、平均在籍期間が11ヶ月、平成15年16名、16年19名の就労実績等に現れています。その例として、施設卒業生の就職体験談が聞ける場を設けたり、毎週金曜日の『ビジネスふらいデー』では、職場での挨拶の仕方や同僚との付き合い方を学んだりしています。

また、就職後の生活の幅が広がるように、利用者の趣味などに応じた地域資源を共に調べ情報提供するなど、生活全般に渡る支援がなされています。

・利用者の希望や求人傾向に柔軟に配慮した、個別訓練プログラムの開発・提供

就労支援は、利用者の状態、作業能力からコミュニケーション能力までを総合的に見極めた上で、利用者のニーズと、現実の求人とのマッチングを図る必要があります。そのため、訓練プログラムは非常に個別性の高いものとなっており、また、地域の求人状況を踏まえた内容のプログラムが開発されています。一方で、他の人の作業を見て自分もやってみたくなったという話があれば、臨機応変にプログラム提供を行うなど、創意工夫がなされています。

・施設内外の連携による、支援活動の広がり

就労促進訓練室のある足立区障害福祉センター内の印刷物や清掃業務を訓練プログラムに取り入れたり、センター内にある雇用支援室と連携して利用者の就職後の不安を軽減したり、センター内での連携を図り支援を行っています。

また、民間企業の補助金を活用して、利用者が困ったときの対処方法を示したすごろくをつくったり、施設外の関係機関との連携も支援活動に活かしています。

✓さらなる改善が望まれる点

・将来を展望した課題把握の取組

当施設における就労支援も3年目を迎え、一般就労への意欲の高い利用者の定着支援にも成果が出てきています。このため、区内の福祉作業所や授産施設で福祉的就労をしている人や、手帳を持たない発達障害の人など、対象者層の拡大も検討され始めています。今後とも、こうした将来を展望した施設運営・課題把握が進められるとともに、新しい利用者層への対応に向けて、ヤングハローワークなどの他機関との連携や計画の策定などの取組が期待されます。

・施設近隣とのつながりの重視、理解の促進

限られた期間内に就労訓練を行う施設のため、地域住民との交流に時間を掛けるには難しい面もありますが、災害時においては施設近隣とのつながりが重要となります。足立区障害福祉センター全体として、地

域清掃や地域住民を対象とした講座を始めるなど、接点を増やす取組が進められているほか、就労促進訓練室でも、民生委員の障害者部会との連携を深める取組を進めています。今後は、より一層の近隣地域との連携や施設への理解を深める取組が期待されます。

● 職員間の一層の意見交換の促進

障害者自立支援法の成立に伴い、制度が大きく変わることから、職員間の情報共有・意見交換がますます重要になります。毎日開催する朝ミーティングや『ふりかえり』で、制度変更などの情報や利用者の状況等を共有していますが、都合により全員がそろわないこともあります。会議に参加できなかった職員も情報を共有できるよう、記録の取り方や保存の仕方を工夫して対応していますが、加えて、意見交換から生まれるアイデアも重視し、職員間での検討につながるようさらなる工夫が期待されます。

[このページの一番上へ](#)

コメント

本評価は4名の評価者が担当し、すべての評価者が施設を訪問して、2日間にわたり利用者調査（聞き取り方式）と施設見学を実施させていただきました。このことにより、会議における職員のやりとりや、利用者の訓練風景など、現場の生の雰囲気を十分に感じ取るとともに、直接職員や利用者の声を聞くことができました。さらに、施設での一日の流れを体験させていただくことができました。

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 [（財）東京都高齢者研究・福祉振興財団](#)

【問合せ】メールアドレス：fukushiit@fukushizaidan.jp 電話：03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > 組織マネジメント分析結果

組織マネジメント分析結果

▼リーダーシップと意思決定 ▼経営における社会的責任 ▼利用者意向や地域・事業環境の把握と活用
▼計画の策定と着実な実行 ▼職員と組織の能力向上 ▼情報の保護・共有 ▼カテゴリ１～７に関する活動成果

平成17年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	足立区障害福祉センター就労促進訓練室
評価機関名称	パシフィックコンサルタンツ 株式会社
事業評価実施期間	2005年9月13日～2006年2月7日

リーダーシップと意思決定

1. 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	評点
1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	A
2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	A
3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	A+
【講評】 詳細はこちら	
- 区施設の施設の一つであることから、事業所が目指している方針については、区の基本構想、... - 自らの役割・責任については、職員会議や朝礼時・終了時の職員全員によるミーティング...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一覧上へ](#)

経営における社会的責任

1. 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	評点
1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	A
2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	A+
3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている	A
2. 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	評点
1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	A+
2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	A
3. 地域の関係機関との連携を図っている	A
【講評】 詳細はこちら	
- 宿泊訓練など、夜間の利用者もいることから、プライバシーに配慮して基本的に不特定多... - 当施設は利用者が職業訓練を行う施設であり、ボランティアという無償労働を積極的に受... - 民生委員を講師に招いて講座を開催したり、民生委員の障害者部会との連携を進めるなど...	

評点の内容
▶ 詳細はこちら

[このページの一覧上へ](#)

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1. 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	評点
1. 利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）	A
2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	A
3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	A
【講評】 詳細はこちら - 利用者の平均在籍期間が11ヶ月と短く、また希望する職種等多様であることから、利... - 利用者一人ひとりの意見を踏まえた週間プログラムが組まれています、利用者からの申... - 障害者雇用を促進するため、職場開拓など企業への働きかけを行っているほか、地域の求... 評点の内容 ▶ 詳細はこちらから	

[このページの一番上へ](#)

計画の策定と着実な実行

1. 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	評点
1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	A
2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	A
3. 着実な計画の実行に取り組んでいる	A
2. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	評点
1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら - 毎年12月頃から職員の話し合いのもと課題が整理・設定されており、毎年度策定する事... - 施設を開所してから3年になりますが、就労支援に取り組んだ結果、平成15年16名、... - 利用者の安全確保・向上を図るため、危機管理マニュアル、緊急時の対応マニュアル、地... 評点の内容 ▶ 詳細はこちらから	

[このページの一番上へ](#)

職員と組織の能力向上

1. 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	評点
1. 事業所にとって必要な人材構成にしている	A
2. 職員の質の向上に取り組んでいる	A
2. 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	評点
1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	A
2. 職員のやる気向上に取り組んでいる	A
【講評】 詳細はこちら - 自己申告書により職員の意向を把握するなど、適材適所の人事配置に努めています。区... - 職歴に応じてステップアップ研修を実施しているほか、ミニ演習会や、福祉事務所の講演... - 職員の福利厚生は、区職員としての福利厚生があります。また、就労促進訓練室のある足... 評点の内容 ▶ 詳細はこちらから	

[このページの一番上へ](#)

情報の保護・共有

1. 情報の保護・共有に取り組んでいる	評点
1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	A
2. 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している	A

【講評】[詳細はこちら](#)

- ・ 利用者の個人情報は個人ファイルにて管理し、情報が漏れることのないよう職員室で管理...
- ・ 個人情報の保護については、契約書、重要事項説明書に記載しているほか、足立区個人情報...
- ・ 利用者とプライバシーを守るべき内容の話をする際は、相談室を利用したり、利用者対応...

評点の内容
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

カテゴリー1～7に関する活動成果

1. 前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A+
【改善の成果】 詳細はこちら	
・ 開設後3年目となることから、関係機関にも就労促進訓練室の役割と意義が周知され、企...	
2. 前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A+
【改善の成果】 詳細はこちら	
・ 平成15年の開設以来、職員は自ら収集した情報やアイデアを活かし、新たな訓練プログ...	
3. 前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	A
【改善の成果】 詳細はこちら	
・ 就労促進訓練室での就労実績の増加に伴い、同じ足立区障害福祉センター内にある雇用支...	
4. 前年度と比べ、事業所の財政面において向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している	A
【改善の成果】 詳細はこちら	
・ 当施設は足立区の施設であるため、区の予算に基づいて運営されています。通常の通所授...	
5. 前年度と比べ、利用者の意向や苦情対応の面で向上している	評点
1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している	A+
【改善の成果】 詳細はこちら	
・ 今後の利用者層として、区内の福祉作業所や授産施設で福祉的就労をしている人や、手帳...	
【講評】 詳細はこちら	
・ 関係機関にも就労促進訓練室の役割と意義が周知されており、就労実績として着実に成果... ・ 職員の情報収集・アイデアにより、足立区近隣の求人傾向を把握し、作業プログラムを開... ・ 区内の福祉作業所や授産施設で福祉的就労をしている人や、発達障害を持った人など、従...	

評点の内容
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > サービス分析結果

サービス分析結果

▼サービス提供のプロセス項目 ▼サービスの実施項目

平成17年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	足立区障害福祉センター就労促進訓練室
評価機関名称	パシフィックコンサルタンツ 株式会社
事業評価実施期間	2005年9月13日～2006年2月7日

サービス提供のプロセス項目

サービス情報の提供	評点
1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している	A
【講評】詳細はこちら - パンフレット、ホームページ、区の広報紙による情報提供のほか、授産施設、養護学校な... - パンフレット等の内容は、毎年見直しをして、利用者に分かりやすくなるよう内容を改善... - 各福祉事務所との連絡会や担当者会議、民間施設との連絡会等で積極的に情報提供して...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	
サービスの開始・終了時の対応	評点
1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	A
2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している	A+
【講評】詳細はこちら - 入所にあたっての見学・実習では、利用契約書・重要事項説明書を用いて、利用者・家族... - 入所開始時の面接の際に、サービス利用前の生活について聞き取っています。利用者の個... - 就職後3ヶ月の職場定着観察期間を設けており、職場定着の支援計画を利用者として作成して...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	
個別状況の把握・記録	評点
1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	A
2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	A
3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	A
4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	A
【講評】詳細はこちら - 指導台帳・入所時面接票・入所評価票・現況調査票・専門職評価表・ケース記録など、統... - 入所開始時、1ヶ月後に個別支援計画を作成し、その後3ヶ月毎に個別支援計画を見直し... - 毎日の『ふりかえり』でその日に得た利用者・家族からの要望や状況変化等を共有し、個...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	
プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	評点
1. 利用者のプライバシー保護を徹底している	A
2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	A
【講評】詳細はこちら - 都の指導もあり、利用者の個人情報了他機関に照会する際は、本人に情報内容を確認し、... - プライバシー保護の基本姿勢は契約書に明記しており、職員は利用者一人ひとりの価値観... - 病気を気にしている利用者の前ではその話をしないなど、個人の意志を尊重したり、利用...	
評点の内容 ▶ 詳細はこちら	
事業所業務の標準化	評点

1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	A
2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	A
3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	A
【講評】詳細はこちら - 各作業プログラム(ストア、調理補助、リサイクル、Fプロ、OA、清掃、オフィス、学... - サービスの基準事項や手順等は、予算編成時期や事業計画策定時期に見直しを行って... - 区の職員研修のほか、都研修・各種専門機関の開催研修等に積極的に参加しています。	



[このページの一番上へ](#)

サービスの実施項目

サービスの実施	評点
1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している	A
【講評】詳細はこちら - 利用者の特性に合わせて、コミュニケーションの取り方を工夫しています。書くことで自... - 利用者のコミュニケーションの能力を高めるよう、必要に応じて面接練習を行うほか、個... - 利用者が食の大切さやマナーを学べるよう、栄養セミナー・健康セミナーを実施していま...	
2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている	A
【講評】詳細はこちら - 就労促進訓練室の基本理念として、企業就労をめざしているため、授産活動には重きを置... - キャリアコンサルタントを講師に招いた就労支援セミナーや、『ビジネスふらいデー』の... - 利用者の日中活動は、すべて利用者とは話し合って作成した個別支援計画からプログラムが...	
3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している	A
【講評】詳細はこちら - サービス開始時に嗜好調査を行っているほか、月に1回行われる給食会議に利用者の嗜好... - 栄養士が中心となって、給食業者と連携を取りながら、メニュー、味付け、盛りつけ、食... - 利用者が食の大切さやマナーを学ぶことができるよう、栄養セミナー・健康セミナーを実...	
4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている	A
【講評】詳細はこちら - 着替えや給食の配膳など、利用者ができることは自分で行うように支援しています。また... - 訓練を通じて身の回りのことを自分で行えるように、面接会場へのルートや交通手段を調...	
5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている	A
【講評】詳細はこちら - 専門嘱託医師による健康相談や、看護師による定期的な健康チェックを行っています。必... - 緊急連絡先の把握や主治医の情報については、個別ファイルに管理し、緊急時に速やか... - 看護師が就労促進訓練室だけでなく、足立区障害福祉センター内の複数施設を兼務してい...	
6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	A
【講評】詳細はこちら - 行事・レクリエーションのプログラムは、利用者による自治会が中心に企画・立案してい... - 室内は窓が大きく取られ、明るい空間となっています。また、利用者自ら清掃活動にも取... - 災害時の避難を迅速に行えるよう、防災用ヘルメットを壁にかけ、自分のヘルメットを取...	
7. 施設と家族等との交流・連携を図っている	A
【講評】詳細はこちら 毎月『お知らせ』を発行し、就労促進訓練室の様子を家族等に知らせています。必要に応...	

- 家族状況に合わせて2ヶ月に1回、夜間の家族会を開催し、ひとり暮らし支援のための生...

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

A⁺

【講評】[詳細はこちら](#)

- 利用者一人ひとりが家から職場に行くという生活を想定して、利用者の住所地や就労先、...
- 足立区障害福祉センター全体として、地域清掃や地域住民を対象とした講座などの取組を...
- 工場見学などの職場体験や、民間企業の補助金を活用した取組を行うなど、地域の資源を...

評点の内容
▶ [詳細はこちら](#)

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団

【問合せ】メールアドレス: fukushiit@fukushizaidan.jp 電話: 03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

[事業評価結果](#)

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

[評点の見方](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [利用者調査結果](#)

利用者調査結果

▼調査概要

▼調査結果全体のコメント

▼調査結果

平成17年度

知的障害者通所授産施設[経過措置]

事業所名称	足立区障害福祉センター就労促進訓練室
評価機関名称	パシフィックコンサルタンツ 株式会社
利用者調査実施期間	2005年9月26日～2005年11月28日

調査概要

- **調査対象**: 就職観察期間中で不在の方を除く通所利用者全員
- **調査方法**: 聞き取り方式
- 利用者総数: 22人
- 共通評価項目による調査対象者数: 18人
- 共通評価項目による調査の有効回答者数: 18人
- 利用者総数に対する回答者割合(%): 81.8%
- 調査項目: [共通評価項目](#)

[このページの一番上へ](#)

調査結果全体のコメント

調査実施時に就職観察期間中で不在の方が4名おり、対象者はその方達を除く通所利用者計18名でした。調査は4名の調査員(全員評価者)が施設を訪問し、2日間にわたり実施しました。調査方法は聞き取り方式により行いましたが、利用者本人のプライバシーに配慮するとともに、正直に回答しやすい雰囲気づくりを目的として調査員1名に対し利用者1名ずつ、個室にて実施しました。調査結果を見ると、職員の接し方に関連する設問(問5)で「いいえ」と回答している中では、「仕事(訓練)では厳しい」など、ビジネスマナーが身に付くよう、職員が場面に応じて指導している様子がうかがえます。また、利用者の目標や計画についての説明や内容に関する設問(問8)では「いいえ」や「無回答」の割合が高くなっています。

[このページの一番上へ](#)

調査結果

1.施設の中は安全に動けるようになっていますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

2.食事はおいしいですか

はい	13人	どちらともいえない	0人	いいえ	5人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

栄養のバランスが取れているという評価もあったが、味が薄いといった意見も聞かれた。

3.仕事や活動は楽しいですか

はい	15人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

4.職員はみんな同じようにあなたに対応してくれますか

はい	17人	どちらともいえない	0人	いいえ	1人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

5.職員は、丁寧（乱暴な言葉を使ったり、命令したり、呼び捨てにしない）に接してくれますか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

6.あなたの気持ちをわかってくれる（相談できる）職員がいますか

はい	13人	どちらともいえない	0人	いいえ	4人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

7.あなたが困ったとき、施設の職員は助けてくれますか

はい	16人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

8.困ったことを外の人（第三者委員など）にも相談できますか

はい	9人	どちらともいえない	0人	いいえ	5人	無回答・非該当	4人
----	----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「いいえ」「無回答」では、第三者委員を知らないという意見が多かった。

9.工賃・給料の支払いのしくみは、わかりやすく説明されていますか

はい	15人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

10.施設に、あなたが来る事を喜んでくれる仲間がいますか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

11.あなたの目標・計画について、いっしょに考えわかりやすく説明してくれましたか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

12.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】利用する前に、施設での生活や支援内容など、知りたいことについてわかりやすい説明がありましたか

はい	11人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

13.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設のサービスなどの考え方を知る機会（説明、掲示など）がありましたか

はい	11人	どちらともいえない	0人	いいえ	2人	無回答・非該当	0人

14.【過去1年以内に利用を開始したと答えた方に】施設の説明を聞いて、自分で施設を利用することを決めましたか

はい	10人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

【コメント】

「はい」の意見としては、両親など家族に勧められて、本人が決めるパターンが多く見られた。

15.あなたは不満や要望を職員に気軽に話すことができますか

はい	13人	どちらともいえない	0人	いいえ	5人	無回答・非該当	0人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

16.職員は不満や要望に対してきちんと対応してくれていますか

はい	14人	どちらともいえない	0人	いいえ	3人	無回答・非該当	1人
----	-----	-----------	----	-----	----	---------	----

[このページの一番上へ](#)

[福ナビトップへ](#) | [サイトマップ](#) | [メルマガ登録](#) | [ご意見・ご要望](#) | [特集](#) | [アクセシビリティについて](#)

Copyright©2008 (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団

【問合せ】メールアドレス: fukushiit@fukushizaidan.jp 電話: 03-5206-8733

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > リーダーシップと意思決定

リーダーシップと意思決定

講 評

区の施設の一つであることから、事業所が目指している方針については、区の基本構想、基本計画や区報、パンフレットなど様々な形態により、区民に周知されています。

また、職員に対しては、書類のファイリングがされているほか、重要な文書起案のための『足立区文書管理システム』や、掲示板機能・スケジュール管理・備品管理などの機能がある『共通OAシステム』により、庁内における情報の共有、事務の効率化、迅速な意思決定が図られています。

自らの役割・責任については、職員会議や朝礼時・終了時の職員全員によるミーティングにより毎日伝達・確認しています。また、行動予定は、月単位・日単位で確認・調整を行っています。

[このページの一番上へ](#)

1-1-1. 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している

評点	A
標準項目	- 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している - 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている - 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている - 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)
A+の取り組み	

1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

評点	A
標準項目	- 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている - 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している
A+の取り組み	

1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情をふまえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

評点	A ⁺
標準項目	- 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている - 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している - 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
A+の取り組み	重要な文書起案については、『足立区文書管理システム』によって、收受起案、発意起案、供覧書起案などの用途に応じて電子決済が可能となっています。 また、区の施設であることから、施設の取組等について足立区基本計画、区報などを通じて広く区民に周知しています。

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

- 全体の評価講評
- 事業評価結果
 - 組織マネジメント分析結果
 - サービス分析結果
- 利用者調査結果
- 事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > 経営における社会的責任

経営における社会的責任

講評

宿泊訓練など、夜間の利用者もいることから、プライバシーに配慮して基本的に不特定多数の人向けには施設開放しない方針がとられています。

このため、地域への施設開放については、竹ノ塚駅に近く障害者にも使いやすい「障害福祉館」を勤めており、当施設との役割分担を図っています。

当施設は利用者が職業訓練を行う施設であり、ボランティアという無償労働を積極的に受け入れた施設運営は利用者に混乱を招くおそれもあるため、慎重に対応しています。

ただしボランティアの問い合わせに対しては、土日の活動など、職業訓練とは異なる場面において受け入れています。

民生委員を講師に招いて講座を開催したり、民生委員の障害者部会との連携を進めるなど、施設近隣の地域との連携も図っています。

[このページの一番上へ](#)

2-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している

評点	A	
標準項目		福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している
		全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる
A+の取り組み		

2-1-2. 第三者評価の導入・外部監査、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている

評点	A+	
標準項目		第三者評価・外部監査の実施など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる
		透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している
A+の取り組み	北千住のマルナビジョンで、就労促進訓練室のある足立区障害福祉センター「あしすと」の活動を紹介するほか、障害者就労広報誌や地元紙などマスコミの取材を利用して、事業内容を広く周知しています。 また、区民評価で外部の意見を取り入れる仕組みもあり、情報発信にとどまらず、双方向の情報交換を図っています。	

2-1-3. 将来を担う人材育成として、実習生を受け入れている

評点	A	
標準項目		実習生の受け入れに対する基本方針・取り組み体制を明確にしている
		効果的な実習ができるよう計画的なプログラムを用意している
A+の取り組み		

2-2-1. 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある

評点	A ⁺	
標準項目	○	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)
	○	地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている
A+の取り組み	足立区近隣でリサイクル関連の事業者が多いことを考慮して、作業プログラムに「リサイクル」を導入するなど、職員の情報収集とアイデアが訓練プログラムの充実に活かされています。	

2-2-2. ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している

評点	A	
標準項目	○	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している
	○	ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)
	○	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている
A+の取り組み		

2-2-3. 地域の関係機関との連携を図っている

評点	A	
標準項目	○	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している
	○	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > [利用者意向や地域・事業環境の把握と活用](#)

利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

講 評

利用者の平均在籍期間が11ヶ月と短く、また希望する職種等多様であることから、利用者の意向把握はアンケートではなく、利用者一人ひとりから職員が聞き取るようにしています。希望に応じて、例えば喫茶店で働きたい人がいれば、飲み物のメニューを作成するなど、就労の場で実践的に活かせる訓練プログラムづくりに重点を置いています。

利用者一人ひとりの意見を踏まえた週間プログラムが組まれています。利用者からの申し出があればその日の状況に合わせて変更・修正が可能となっています。

職員は利用者から意見が出やすいように働きかけたり、聞く姿勢を持ちながら柔軟に接しています。

障害者雇用を促進するため、職場開拓など企業への働きかけを行っているほか、地域の求人傾向を把握し、その内容を訓練プログラムに反映するなど、地域の動向を整理・分析しています。

[このページの一番上へ](#)

3-1-1. 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点	A
標準項目	○ 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
	○ 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-2. 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
	○ 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
	○ 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
A+の取り組み	

3-1-3. 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点	A
標準項目	○ 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
	○ 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
	○ 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > 計画の策定と着実な実行

計画の策定と着実な実行

講評

毎年12月頃から職員の話し合いのもと課題が整理・設定されており、毎年度策定する事業計画の中で活かされています。また、利用者一人ひとりに対する支援については、入所開始時に作成され、1ヶ月後及びその後3ヶ月毎に見直す個別支援計画の中で示しています。

施設を開所してから3年になりますが、就労支援に取り組んだ結果、平成15年16名、16年19名の就労実績に現れるなど、着実に成果が上がってきています。

利用者の安全確保・向上を図るため、危機管理マニュアル、緊急時の対応マニュアル、地震対応のマニュアルなど、各種マニュアルを整備しています。

また、就労促進訓練室のある足立区障害福祉センター全体で、リスクマネジメント部会、危機管理委員会などを開催しています。

[このページの一番上へ](#)

4-1-1. 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点	A
標準項目	○ 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している
	○ 年度単位の計画を策定している
	○ 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる
A+の取り組み	

4-1-2. 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点	A
標準項目	○ 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている
	○ 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている
	○ 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)をふまえて策定している
	○ 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)をふまえて策定している
A+の取り組み	

4-1-3. 着実な計画の実行に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している
	○ 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている
	○ 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している
	○ 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる
A+の取り組み	

4-2-1. 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点	A	
標準項目	○	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している
	○	発生した事故や事故につながりやすい事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している
	○	再発防止・予防対策の実践に向けて、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > 職員と組織の能力向上

職員と組織の能力向上

講 評

自己申告書により職員の意向を把握するなど、適材適所の人事配置に努めています。
区の施設であることから、職員は区の人事に従って異動しています。その際にも組織の維持・サービスの向上が図られるよう、さらなる研修の充実などが期待されます。

職歴に応じてステップアップ研修を実施しているほか、ミニ演習会や、福祉事務所の講演会などにより、職員の資質向上に努めています。
自主的に研修の受講を希望する職員については、月間予定表に基づき仕事を調整し、参加しやすい環境づくりを進めています。

職員の福利厚生は、区職員としての福利厚生があります。また、就労促進訓練室のある足立区障害福祉センター内で安全衛生委員会を設置し、メンタルケアを行うなど、職員への支援の充実に取り組んでいます。

[このページの一番上へ](#)

5-1-1. 事業所にとって必要な人材構成にしている

評点	A
標準項目	- 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している - 事業所が必要とする人材をふまえた採用を行っている - 適材適所の人員配置に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-1-2. 職員の質の向上に取り組んでいる

評点	A
標準項目	- 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している - 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している - 個人別の育成(研修)計画をふまえ、OJTや研修を行っている - 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している - 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している
A+の取り組み	

5-2-1. 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点	A
標準項目	- 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している - 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる - 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる
A+の取り組み	

5-2-2. 職員のやる気向上に取り組んでいる

評点	A	
標準項目	○	事業所の特性をふまえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている
	○	就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる
	○	職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる
	○	福利厚生制度の充実に取り組んでいる
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > 情報の保護・共有

情報の保護・共有

講 評

利用者の個人情報は個人ファイルにて管理し、情報が漏れることのないよう職員室で管理しています。またファイル自体を鍵付きのキャビネットに保管し、鍵は職員以外扱えないようになっています。また、電子決済システムによりアクセス権限を設定するとともに、パソコンのログオン時には、職員番号とパスワードの入力を求め、パソコン上のデータ利用を職員に限定しています。

個人情報の保護については、契約書、重要事項説明書に記載しているほか、足立区個人情報保護条例に基づいて対応しています。職員一人ひとりが個人情報を取り扱う文書を作成する際は、上司の決裁を取ることが徹底されているほか、個別に利用者説明して同意を得ています。

利用者とプライバシーを守るべき内容の話をする際は、相談室を利用したり、利用者対応中に受け取った電話は別室で受け直すなど、日々個人情報を守る取組が徹底されています。

[このページの一番上へ](#)

7-1-1. 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる

評点	A
標準項目	○ 情報の重要性や機密性をふまえ、アクセス権限を設定している
	○ 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している
	○ 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している
A+の取り組み	

7-1-2. 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて保護・共有している

評点	A
標準項目	○ 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している
	○ 個人情報の保護に関する規定を明示している
	○ 開示請求に対する対応方法を明示している
	○ 個人情報の保護について職員（実習生やボランティアを含む）が理解し行動できるための取り組みを行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

- 全体の評価講評
- 事業評価結果
 - 組織マネジメント分析結果
 - サービス分析結果
- 利用者調査結果
- 事業者のコメント

評点の見方

福祉サービス第三者評価情報 > 評価結果検索 > 評価結果一覧 > 評価結果詳細 > カテゴリー1～7に関する活動成果

カテゴリー1～7に関する活動成果

講評

関係機関にも就労促進訓練室の役割と意義が周知されており、就労実績として着実に成果が現れています。また、それに満足することなく、他施設での事例なども適宜把握し、就労促進訓練室で気づかない課題の発見に努めるなどの取組も評価されます。

職員の情報収集・アイデアにより、足立区近隣の求人傾向を把握し、作業プログラムを開発するなど、地域・事業環境に応じた個別作業メニューの充実が図られています。また、企業の補助金を活用したプログラムを推進し、民間企業との連携を深めるとともに、職業リハビリテーション学会研究発表会への参加にも取り組むなど、職員の能力向上にも努めています。

区内の福祉作業所や授産施設で福祉的就労をしている人や、発達障害を持った人など、従来の利用者層と異なった利用者意向の変化に努めるなど、将来を見通した施設運営に努めています。

[このページの一番上へ](#)

8-1-1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1：「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2：「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4：「計画の策定と着実な実行」

評点	A ⁺
改善の成果	開設後3年目となることから、関係機関にも就労促進訓練室の役割と意義が周知され、企業就労を目指す利用者の受け入れが円滑になっています。 平成15年度に16名、平成16年度に19名の就労実績を挙げており、企業就職という就労促進訓練室がめざすサービス提供の理念・方針が着実に成果として現れており、足立区における障害者の就労支援の拠点施設として役割を果たしています。

[このページの一番上へ](#)

8-2-1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5：「職員と組織の能力向上」

評点	A ⁺
改善の成果	平成15年の開設以来、職員は自ら収集した情報やアイデアを活かし、新たな訓練プログラムを開発するなど、意欲的な取り組みを実践してきています。 また、職業リハビリテーション学会研究発表会へ参加するなど、職員の能力向上ややる気向上に向けた取り組みも見られます。

[このページの一番上へ](#)

8-3-1. 前年度（比較困難な場合は可能な期間で）と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6：「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7：「情報の保護・共有」

評点	A
改善の成果	就労促進訓練室での就労実績の増加に伴い、同じ足立区障害福祉センター内にある雇用支援室との連携を図りながら、就職後の定着支援など継続的な支援が図られています。 また、他施設での事例なども適宜把握し、就労促進訓練室で気づかない課題の発見に努めています。 個人情報の保護については、足立区個人情報保護条例に基づいて、慎重かつ適切な対応が図られています。

[このページの一番上へ](#)

8-4-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、財務諸表など財務に関する指標において改善傾向を示している

評点	A
改善の成果	当施設は足立区の施設であるため、区の予算に基づいて運営されています。 通常の通所授産施設とは異なり、授産作業よりも利用者が一般就労した際に使える作業スキルを身につけることに主眼を置いた施設運営をしていますが、授産収入総額や、1人当たり工賃平均支給額は、前年に比べ増加しています。

[このページの一番上へ](#)

8-5-1. 前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分や利用者満足状況調査などにおいて改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意識や地域・事業環境などの把握」

評点	A ⁺
改善の成果	今後の利用者層として、区内の福祉作業所や授産施設で福祉的就労をしている人や、手帳を持たない発達障害の人が対象となることも想定するなど、新たな利用者意向への対応について検討されています。 また、足立区近隣でリサイクル関連の事業者が多いことから、こうした求人傾向を考慮し作業プログラムに「リサイクル」を導入するなど、地域・事業環境の把握にも努めています。

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > サービス情報の提供

サービス情報の提供

講 評

パンフレット、ホームページ、区の広報紙による情報提供のほか、授産施設、養護学校などの関係機関を通じて情報提供しています。

また、利用者には『お知らせ』を通じて事業所情報を提供しています。

パンフレット等の内容は、毎年見直しをして、利用者に分かりやすくなるよう内容を改善しています。

また、ルビを付けるなど、読みやすいように工夫をしています。

見学や問い合わせに対しては、障害特性に合わせて、丁寧に説明するなど、分かりやすく説明しています。

各福祉事務所との連絡会や担当者会議、民間施設との連絡会等で積極的に情報提供しています。

また、企業向けのパンフレットを別途作成し、障害者雇用の理解を図っています。

[このページの一番上へ](#)

1-1. 利用者等に対してサービスの情報を提供している

評点	A
標準項目	○ 利用者が入手できる媒体で、利用者に事業所の情報を提供している
	○ 利用者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	○ 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○ 利用者の問い合わせや見学(可能な場合)の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > サービスの開始・終了時の対応

サービスの開始・終了時の対応

講 評

入所にあたっての見学・実習では、利用契約書・重要事項説明書を用いて、利用者・家族にサービスの内容を説明しています。

利用者負担金については、支援費受給証をもとに説明しています。

入所開始時の面接の際に、サービス利用前の生活について聞き取っています。利用者の個別事情や要望を面接票、アセスメントシート、個別支援計画等に記録として残すとともに、ケース記録に保管しています。利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう、職員が積極的に声かけをしています。

就職後3ヶ月の職場定着観察期間を設けており、職場定着の支援計画を利用者と作成しています。サービス終了時には、足立区障害福祉センター内の雇用支援室に支援を引き継ぎ、継続的な支援を行うことにより、利用者の不安を軽減しています。

また、終了時には、利用者・家族に雇用支援室との連携を分かりやすく説明しています。

[このページの一番上へ](#)

2-1. サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている

評点	A
標準項目	○ サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を利用者の状況に応じて説明している ○ サービス内容や利用者負担金等について、利用者の同意を得るようにしている ○ サービスに関する説明の際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援している

評点	A ⁺
標準項目	○ サービス開始時に、利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している ○ 利用開始直後には、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している ○ サービス利用前の生活をふまえた支援をしている ○ サービスの終了時には、利用者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援をしている
A+の取り組み	・就職後は、就労促進訓練室のある足立区障害福祉センター内の雇用支援室との連携により、継続的な支援を行っています。就労促進訓練室と雇用支援室は、行政組織として同一部署にあるため、朝ミーティング・係会議・ケース検討会等で退所者の状況などの情報共有が可能となっています。さらに、雇用支援室の夜間グループワークにより、状況確認やフォローが迅速に行われています。

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > 個別状況の把握・記録

個別状況の把握・記録

講評

指導台帳・入所時面接票・入所評価票・現況調査票・専門職評価表・ケース記録など、統一した書式を利用して、利用者の身体状況や生活状況を記録し、把握しています。

入所開始時、1ヶ月後に個別支援計画を作成し、その後3ヶ月毎に個別支援計画を見直しています。そのほか、利用者の降所後に行っている毎日の『ふりかえり』の会議などで、必要と認められる場合には計画を緊急に見直すことができます。

毎日の『ふりかえり』でその日に得た利用者・家族からの要望や状況変化等を共有し、個別ファイルにファイリングしています。欠席職員は、朝ミーティングのほか、業務日誌や会議録を利用して、情報を共有しています。

[このページの一番上へ](#)

3-1. 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点	A	
標準項目	☐	利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している
	☐	利用者一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
	☐	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3-2. 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している

評点	A	
標準項目	☐	計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている
	☐	計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている
	☐	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している
	☐	計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

3-3. 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点	A	
標準項目	☐	利用者一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある
	☐	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している

3-4. 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点	A	
標準項目		計画の内容や個人の記録を、関係する職員すべてが共有し、活用している
		申し送り・引継ぎ等により、利用者に変化があった場合の情報を職員間で共有化している
A+の取り組み		

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

講 評

都の指導もあり、利用者の個人情報を他機関に照会する際は、本人に情報内容を確認し、できる限り本人が自分の情報を自分で提供するという、セルフマネジメントの形態を取っています。

プライバシー保護の基本姿勢は契約書に明記しており、職員は利用者一人ひとりの価値観や羞恥心に配慮して支援を行っています。同性介護はもちろんのこと、面談などは面接室を使い、個別に行っています。

病気を気にしている利用者の前ではその話をしないなど、個人の意志を尊重したり、利用者の気持ちに配慮して、職員は日常の言動をとっています。

一方で、就労促進訓練室として、時間を守ることなどビジネスマナーを学ぶ必要のある場面では、時には厳しく、時には優しく指導しています。

[このページの一番上へ](#)

5-1. 利用者のプライバシー保護を徹底している

評点	A
標準項目	○ 利用者について他機関へ照会する際、利用者の承諾を得るようにしている
	○ 日常の支援の中で、利用者のプライバシーに配慮している
	○ 利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

5-2. サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している

評点	A
標準項目	○ 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している（利用者が「ノー」と言える機会を設けている）
	○ 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対策を検討し、対応している
	○ 虐待被害にあった利用者がある場合には、必要に応じて関係機関と連携しながら対応する体制を整えている
	○ 利用者一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > [事業所業務の標準化](#)

評価結果詳細

全体の評価講評

事業評価結果

組織マネジメント分析結果

サービス分析結果

利用者調査結果

事業者のコメント

評点の見方

事業所業務の標準化

講 評

各作業プログラム(ストア、調理補助、リサイクル、Fプロ、OA、清掃、オフィス、学VIVA)のマニュアルを作り、職員誰もが対応できるように共有されています。

また、各マニュアルは年度ごとに見直し・点検が行われ、利用者の要望に合わせた変更・見直しも行っていきます。

サービスの基準事項や手順等は、予算編成時期や事業計画策定期間に見直しを行っています。
利用者一人ひとりのサービス内容については、毎日の『ふりかえり』の時間を利用して、工夫・改善等を検討しています。

区の職員研修のほか、都研修・各種専門機関の開催研修等に積極的に参加しています。また、就労促進訓練室のある足立区障害福祉センター全体で、資質向上部会による職場内研修を実施しています。

また、利用者の安全性については、障害状況を考慮して職員間で情報の共有化をした上で、支援を行っています。足立区障害福祉センター全体でリスクマネジメント部会を開催し、利用者の安全確保に配慮しています。

[このページの一番上へ](#)

6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評価	A	
標準項目		手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
		手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている
		提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している
		職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評価	A	
標準項目	○	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
	○	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案を反映するようにしている
	○	職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

6-3. さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点	A	
標準項目		打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている
		職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している
		職員全員が、利用者の安全性に配慮した支援ができるようにしている
		職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している
		職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている
A+の取り組み		

[このページの一番上へ](#)

評価結果ダイジェスト

評価結果詳細

[全体の評価講評](#)

事業評価結果

[組織マネジメント分析結果](#)

[サービス分析結果](#)

[利用者調査結果](#)

[事業者のコメント](#)

評点の見方

[福祉サービス第三者評価情報](#) > [評価結果検索](#) > [評価結果一覧](#) > [評価結果詳細](#) > サービスの実施

サービスの実施

1. 個別の支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している

講 評

利用者の特性に合わせて、コミュニケーションの取り方を工夫しています。

書くことで自己表現できる利用者には自分の気持ちを伝える時間を設けたり、話すことに緊張感を持つ利用者にはリラックスできる環境を用意したり、発声に時間がかかる利用者には一定の面談時間を定期的に持って、本人のペースで話ができるように配慮しています。

また、職員は障害状況に合わせて分かりやすい言葉で話すようにしています。

利用者のコミュニケーションの能力を高めるよう、必要に応じて面接練習を行うほか、個別プログラムにおいて声を出す訓練や自己表現の訓練を取り入れています。

また、毎週金曜日に開催する『ビジネスふらいデー』において、職場での挨拶の仕方や同僚とのつき合い方などを学ぶプログラムを用意し、支援を行っています。

利用者が食の大切さやマナーを学べるよう、栄養セミナー・健康セミナーを実施しています。

評点	A
標準項目	○ 個別の支援計画に基づいて支援を行っている
	○ 利用者の特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している
	○ 自立生活に必要なさまざまな情報を提供している
	○ 必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

2. 個別の支援計画に基づいて就労・日中活動等に関するさまざまな支援を行っている

講 評

就労促進訓練室の基本理念として、企業就労をめざしているため、授産活動には重きを置かず、就労支援を中心に利用者の個別ニーズに応じたプログラムを提供して支援しています。

キャリアコンサルタントを講師に招いた就労支援セミナーや、『ビジネスふらいデー』のプログラムを実施することにより、働く意欲をもり立てたり、就労に向けた姿勢を身につけるなど実践的な支援を行っています。また、朝礼・終礼の司会を利用者が持ち回りで担当するなど、利用者の主体性を高める支援に取り組んでいます。

利用者の日中活動は、すべて利用者と話し合って作成した個別支援計画からプログラムが構成されています。それぞれの活動はホワイトボードに記され、終礼時には明日の活動が確認できるようになっています。訓練プログラムの変更を申し出ても良いことになっていて、利用者の「これをやりたい」という意志を尊重してプログラム変更を行っています。

限られた空間と職員配置の中で、利用者それぞれの個別活動を保障するよう、職員間の連携と創意工夫のもと取り組んでいます。

評点	A
標準項目	☐ 授産活動のメニュー等は、利用者の希望や特性により選択できるようにしている
	☐ 利用者が活動しやすい環境を整えている
	☐ 利用者一人ひとりのニーズに応じたその人らしさが発揮できる活動を用意している
	☐ 工賃は利用者との合意に基づいて支給している
	☐ 利用者の働く意欲を盛り立てる取り組みを行っている
	☐ 就労可能な利用者には、就労に向けた相談や具体的な支援を行っている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

3. 栄養のバランスを考慮したうえでおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫している

講 評

サービス開始時に嗜好調査を行っているほか、月に1回行われる給食会議に利用者の嗜好や希望を反映して、バラエティに富んだメニューを提供しています。
しかし、一部の利用者からは、味が薄いという意見も聞かれました。

栄養士が中心となって、給食業者と連携を取りながら、メニュー、味付け、盛りつけ、食事環境などの改善を図っています。
毎日の『ふりかえり』で食事時間での特記事項や気になった出来事が共有され、検討されています。

利用者が食の大切さやマナーを学ぶことができるよう、栄養セミナー・健康セミナーを実施しています。
食堂の壁には、栄養セミナーで利用者が自ら調べた、市販の飲料内の砂糖の含有量を掲示するなど、工夫も見られます。

評点	A
標準項目	☐ 利用者の希望や職員の意見を反映し、バラエティーに富んだ飽きのこない食事を提供している
	☐ 利用者の状態やペースに合わせて食事がとれるよう、必要な支援を行っている
	☐ 食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

4. 身の回りの支援に関しては、利用者の立場を考えてサービスを行っている

講 評

着替えや給食の配膳など、利用者ができることは自分で行うように支援しています。
また、利用者が支援を必要とするときは、自ら支援の必要性を伝えられるように働きかけをしています。

訓練を通じて身の回りのことを自分で行えるように、面接会場へのルートや交通手段を調べたり、仕事の始めと終わりにはきちんと挨拶ができるように、支援しています。

評点	A
標準項目	☐ 利用者の状態やペースに合わせて、日常生活上の必要な支援を行っている
	☐ 必要に応じて、身の回りのことは自分で行えるよう働きかけている
A+の取り組み	

5. 利用者の健康を維持するための支援を行っている

講 評

専門嘱託医師による健康相談や、看護師による定期的な健康チェックを行っています。必要に応じて家族や利用者に説明をしています。

通院や服薬等については、主治医からの医療情報などをもとに、本人の自己管理を基本にした支援を行っています。医師への報告等が必要な場合は、本人が作成した内容に、職員が必要に応じて補足をし、決裁をするようにしています。

緊急連絡先の把握や主治医の情報については、個別ファイルに管理し、緊急時に速やかに参照できる体制を整えています。

看護師が就労促進訓練室だけでなく、足立区障害福祉センター内の複数施設を兼務しているため、担当看護師が関わる時間が取れない場合には、センター内の他の看護師や保健師が分担して、健康支援プログラムへ関与してもらっています。

評点	A
標準項目	○ 健康状態に関して、利用者の相談に応じ、必要に応じて利用者や家族に説明をしている
	○ 必要に応じて、通院や服薬等に対する助言や支援を行っている
	○ 服薬管理は誤りがないようチェック体制を整えている
	○ 利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている
A+の取り組み	

このページの一番上へ

6. 利用者の自主性を尊重し、日常生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている

講 評

行事・レクリエーションのプログラムは、利用者による自治会が中心に企画・立案しています。利用者の希望・要望を取り入れ、ポーリングやお台場への外出などを企画、実施されています。

室内は窓が大きく取られ、明るい空間となっています。また、利用者自ら清掃活動にも取り組んでおり、清潔感のある作業空間が保たれています。

また、運動プログラムもホールを利用して実施しており、雨天時も実施可能となっています。

災害時の避難を迅速に行えるよう、防災用ヘルメットを壁にかけ、自分のヘルメットを取りやすくするなど、利用者の意見を参考に、日常生活に関するきまりごとを見直しています。

評点	A
標準項目	○ 行事やレクリエーションのプログラムは、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようにしている
	○ 室内は、採光、換気、清潔性など居心地のよい環境となるようにしている
	○ 日常生活に関するきまりごとについては、利用者等の意見を参考にして見直しをしている
	○ 利用者同士が意見を言う機会があり、その意見等を施設運営に反映できるようなしくみを整えている
	○ 行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行っている
A+の取り組み	

7. 施設と家族等との交流・連携を図っている

講 評

毎月『お知らせ』を発行し、就労促進訓練室の様子を家族等に知らせています。必要に応じて、電話・手紙・面談等で情報提供・相談をしています。

家族状況に合わせて2ヶ月に1回、夜間の家族会を開催し、ひとり暮らし支援のための生活寮・通勤寮の紹介なども行っています。

利用者の平均在籍期間が11ヶ月で、実際に家族同士のつきあひも短くなるため、学校のPTAなどをイメージした家族同士のつながりや活動を意図した交流のニーズはあまり見られず、夜間の家族会への参加者も少ない状況です。

家族間の交流は、親の会の就労支援部会などと機能分担し、個別の家族との情報提供・連携を図っています。

評点	A
標準項目	 家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている
	 利用者の日常の様子や施設の現況を家族等へ知らせる手段を整えている
	 必要に応じて、家族等への情報提供や支援をしている
A+の取り組み	

[このページの一番上へ](#)

8. 地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている

講 評

利用者一人ひとりが家から職場に行くという生活を想定して、利用者の住所地や就労先、通勤経路を「地域」と位置づけ、周辺情報を利用者と共に調査し、提供しています。

具体的には、生活の幅が広がるよう、映画が好きな利用者には映画館、ボーリングが好きな利用者にはボーリング場がどこにあるかなどについて、利用者と共に調べています。

足立区障害福祉センター全体として、地域清掃や地域住民を対象とした講座などの取組を始め、地元の民生委員さんに訓練プログラムに関わってもらうなど、近隣の地域との連携を図っています。

工場見学などの職場体験や、民間企業の補助金を活用した取組を行うなど、地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援しています。

評点	A ⁺
標準項目	 地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している
	 必要に応じて、利用者が地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援している
A+の取り組み	・工場見学などの職場体験を行い、体験した内容を他の利用者に報告したり、民間企業の補助金を活用して、利用者が困ったときにどうすればよいかを示したすごろくを作成するなど、地域の資源を利用し、多様な体験ができるよう支援しています。

[このページの一番上へ](#)